



97	施設名	子育て支援センター（サンピノ）
	部局(課)名	市民福祉部（子育て支援課）
	所在地	上町12-32
	施設面積	80㎡（7,224.50㎡）
	建設年度	H15

1 施設の概要

構造・階数	鉄骨鉄筋コンクリート造 3階建一部8階建	台帳価格	—
行政・普通財産	行政財産	耐用年数到来年度	H15＋耐用年数50年×1.2＝R45

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	1,552人 5,492千円	
キャッシュフローと老朽化度	高負担築浅	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 機能維持のため修繕を実施し、長寿命化を図り継続使用する。 公民連携や民間等への譲渡については、市立保育所の今後の方針に基づく第一保育所の民間移管と合わせて検討する。		

※集約・複合化の検討について

現施設は複合化しており、検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

市立保育所の今後の方針に基づく第一保育所の民間移管と合わせて検討する。

※民間等への譲渡の検討について

市立保育所の今後の方針に基づく第一保育所の民間移管と合わせて検討する。

3 目標使用年数 [30年超]

今後も維持管理のための修繕を実施し、継続して使用する。

4 管理上の課題等

特になし。

5 管理に関する実施方針

適正な維持管理を実施する。

6 管理に関する実施計画

計画的な修繕の実施に努める。

修繕等の実績及び今後の計画

11－幼児・児童施設No.97

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	0	0	0	
修繕費				
光熱水費等				
事業運営費	5,203	4,779	5,254	
合 計	5,203	4,779	5,254	

【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	

【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	1,494	1,437	1,552	

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



98	施設名	旧子育て支援センター（旧さんぽえむ）
	部局(課)名	二ツ井地域局（総務企画課）
	所在地	二ツ井町梅内字前田206
	施設面積	541.26㎡
	建設年度	S56

※倉庫含む

1 施設の概要

構造・階数	木造一部鉄骨 平屋建	台帳価格	50,260,499円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数 到来年度	S56＋耐用年数22年×1.2＝H19

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－ 8,802千円		
キャッシュフローと老朽化度	低負担老朽		
基本的な方針	廃止	地域へ譲渡	
「基本的な方針の考え方」 H31.4に二ツ井伝承ホールへ機能移転した。移転後、解体することになっていたが、地域で利用したいとの要望があり、解体費以内の金額で屋根を修繕し、地域振興に活用する。			

※集約・複合化の検討について

他施設への統合・複合化については検討していない。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

公民連携については検討していない。

※民間等への譲渡の検討について

地域へ譲渡することにより、近隣住民の地域振興の拠点とすることができる。

3 目標使用年数 [10年以内]

老朽化が著しいが、市が屋根の修繕を行い、以後の修繕は地域で行い、解体が必要になった場合も地域で行うこととする。

4 管理上の課題等

耐用年数を経過しており、今後も劣化による改修（屋根、水道管等）が見込まれる。

5 管理に関する実施方針

老朽化による危険性が生じた場合は、地域で解体・移転を進める。

6 管理に関する実施計画

屋根修繕を行い、梅内聚落へ建物を無償譲渡する。それまでの間は土地、建物とも無償貸し付けをする。

修繕等の実績及び今後の計画

11－幼児・児童施設No.98

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	屋根改修	8,271	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		8,271	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成30年度～令和2年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	737	420	27	
修繕費	394	85		
光熱水費等	343	335	27	保険料+委託料
事業運営費	3,369	5,038	35	
合 計	4,106	5,458	62	

【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	

【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等				

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



99	施設名	二ツ井児童館
	部局(課)名	二ツ井地域局（市民福祉課）
	所在地	二ツ井町字下野家後82-2
	施設面積	271.02㎡
	建設年度	S48

1 施設の概要

構造・階数	木造 平屋建	台帳価格	12,873,450円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数 到来年度	S48＋耐用年数22年×1.2＝H11

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	6,382人 3,115千円		
キャッシュフローと老朽化度	低負担老朽		
基本的な方針	縮減対象	機能維持のための修繕を実施しながら縮減を検討	
「基本的な方針の考え方」 施設について、今後の利用状況や施設の老朽化等を考慮しながら、事業の在り方について検討する。 施設解体の際は、機能移転等考慮したうえで進める。 施設解体までは、機能維持のため修繕を実施し、長寿命化を図り継続使用する。			

※集約・複合化の検討について

施設解体に伴う他施設への統合・複合化について検討する。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

公民連携については検討していないが、受託希望があれば検討する。

※民間等への譲渡の検討について

希望があれば民間等への譲渡について検討する。

3 目標使用年数 [10年以内]

老朽化が進んでおり、10年以内の解体を目標とする。

4 管理上の課題等

耐用年数を経過しており、今後も劣化による改修（屋根、水道管等）が見込まれる。

5 管理に関する実施方針

老朽化による危険性が生じた場合は、解体・移転を進める。

6 管理に関する実施計画

修繕については活用状況に応じ、出来る限り必要最小限に留める。

修繕等の実績及び今後の計画

11－幼児・児童施設No.99

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	29	241	197	
修繕費	29	47	12	
光熱水費等		194	185	燃料費+光熱水費
事業運営費	2,288	3,298	2,918	
合 計	2,317	3,539	3,115	

【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	

【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	8,199 (児童クラブ利用除 1,495)	5,929 ※児童クラブ移転	6,382	R元児童安全共済

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



100	施設名	樽子山の家留守家庭児童会
	部局(課)名	市民福祉部（子育て支援課）
	所在地	若松町11の内
	施設面積	99.37㎡
	建設年度	H1

1 施設の概要

構造・階数	木造 平屋建	台帳価格	7,208,000円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数到来年度	H1＋耐用年数22年×1.2＝H27

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	7,196人 12,718千円		
キャッシュフローと老朽化度	低負担老朽		
基本的な方針	縮減対象	機能維持のための修繕を実施しながら縮減を検討	
「基本的な方針の考え方」 施設は耐用年数を経過しているが、放課後児童クラブの需要は高く事業は継続すべきであり、機能維持のための修繕を実施し長寿命化を図り、継続使用する。 老朽化による更新が必要となった場合は、他施設の空スペースの活用について検討する。			

※集約・複合化の検討について

老朽化による更新が必要となった場合は、他施設の空スペースの活用について検討する。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

公設民営方式で、放課後児童クラブ事業を委託している。

※民間等への譲渡の検討について

民間等への譲渡は検討していない。

3 目標使用年数 [10年以内]

当面は機能維持のための修繕を実施し、長寿命化を図り継続使用する。

4 管理上の課題等

耐用年数を経過しており、委託事業者からは床のたわみや窓枠からの異臭等の改善について要望が出されている。

5 管理に関する実施方針

老朽化による更新が必要となった場合は、他施設の空スペースの活用について検討する。
大規模修繕が必要になった場合は、子ども・子育て支援整備交付金等を活用する。

6 管理に関する実施計画

現状で、大きな修繕の予定はない。

修繕等の実績及び今後の計画

11－幼児・児童施設No.100

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29			
H30			
R1	トイレ改修（洋式化及び個数増）	2,211	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		2,211	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	320	276	2,474	
修繕費	57	11	2,206	
光熱水費等	263	265	268	
事業運営費	8,065	7,298	10,244	
合 計	8,385	7,574	12,718	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	8,812	8,204	7,196	

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



101	施設名	四小青空会留守家庭児童会
	部局(課)名	市民福祉部（子育て支援課）
	所在地	字大瀬儘下48-2の内、他
	施設面積	181.26㎡
	建設年度	H23（61.53㎡）、H26（119.73㎡）

1 施設の概要

構造・階数	軽量鉄骨造一部木造 平屋建	台帳価格	24,804,600円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数到来年度	H26＋耐用年数27年×1.2＝R28

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	7,196人 18,153千円	
キャッシュフローと老朽化度	高負担築浅	
基本的な方針	縮減対象	機能維持のための修繕を実施しながら縮減を検討
「基本的な方針の考え方」 放課後児童クラブの需要は高く事業は継続すべきであり、機能維持のための修繕を実施し長寿命化を図り、継続使用する。 今後、新クラブへの集約を検討する。		

※集約・複合化の検討について

今後、第四小学校区児童の放課後児童クラブ利用が減少し、令和2年度に学校隣接地へ整備予定の新クラブのみで対応可能となった場合は、新クラブへの集約を検討する。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

公設民営方式で、放課後児童クラブ事業を委託している。

※民間等への譲渡の検討について

建設地が借地であるため、民間等への譲渡は検討していない。

3 目標使用年数 [21～30年以内]

当面は機能維持のための修繕を実施し、長寿命化を図り継続使用する。

4 管理上の課題等

H23建設部分に児童厚生施設等整備費補助金が充てられている。

5 管理に関する実施方針

当面は予防保全型管理による長寿命化を図る。

6 管理に関する実施計画

現状で、大きな修繕の予定はない。

修繕等の実績及び今後の計画

11－幼児・児童施設No.101

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	329	405	361	
修繕費	62	9	0	
光熱水費等	267	396	361	
事業運営費	8,117	14,981	17,154	
合 計	8,446	15,386	17,515	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	18,281	16,920	16,886	

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



102	施設名	留守家庭児童会はくちょうクラブ
	部局(課)名	市民福祉部（子育て支援課）
	所在地	鯉渕字中島古屋布 2 5
	施設面積	181.89㎡
	建設年度	H6

1 施設の概要

構造・階数	鉄骨造 平屋建	台帳価格	34,596,720円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数到来年度	H6＋耐用年数34年×1.2＝R17

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	6,466人 9,832千円		
キャッシュフローと老朽化度	高負担築浅		
基本的な方針	縮減対象	機能維持のための修繕を実施しながら縮減を検討	
「基本的な方針の考え方」 放課後児童クラブの需要は高く事業は継続すべきであり、機能維持のための修繕を実施し長寿命化を図り、継続使用する。（第五小学校併設の旧東部共同調理場を大規模改修し、放課後児童クラブに転用）			

※集約・複合化の検討について

利用児童の増加に伴い、第五小学校併設の旧東部共同調理場を大規模改修し、放課後児童クラブに転用した。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

公設民営方式で、放課後児童クラブ事業を委託している。

※民間等への譲渡の検討について

民間等への譲渡は検討していない。

3 目標使用年数 [11～20年以内]

当面は機能維持のための修繕を実施し、長寿命化を図り継続使用する。

4 管理上の課題等

放課後児童クラブに転用済みだが、H29大規模改修財源に子ども・子育て支援整備交付金等が充てられている。

5 管理に関する実施方針

当面は予防保全型管理による長寿命化を図る。

6 管理に関する実施計画

現状で、大きな修繕の予定はない。

修繕等の実績及び今後の計画

11－幼児・児童施設No.102

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	36,066	364	337	
修繕費	35,277	98	19	
光熱水費等	789	266	318	
事業運営費	5,713	7,108	7,809	
合 計	41,779	7,472	8,146	
【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	
【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	6,608	8,196	6,466	

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



103	施設名	留守家庭児童会なかよし
	部局(課)名	市民福祉部（子育て支援課）
	所在地	向能代字上野越25-1
	施設面積	248.43㎡
	建設年度	H29

1 施設の概要

構造・階数	木造 2階建	台帳価格	58,395,600円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数 到来年度	H29＋耐用年数27年×1.2＝R31

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	14,008人 16,319千円		
キャッシュフローと老朽化度	高負担築浅		
基本的な方針	縮減対象	機能維持のための修繕を実施しながら縮減を検討	
「基本的な方針の考え方」 放課後児童クラブの需要は高く事業は継続すべきであり、機能維持のための修繕を実施し長寿命化を図り、継続使用する。 老朽化による更新が必要となった場合は、他施設の空スペースの活用について検討する。			

※集約・複合化の検討について

老朽化による更新が必要となった場合は、他施設の空スペースの活用について検討する。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

公設民営方式で、放課後児童クラブ事業を委託している。

※民間等への譲渡の検討について

民間等への譲渡は検討していない。

3 目標使用年数 [21～30年以内]

当面は機能維持のための修繕を実施し、長寿命化を図り継続使用する。

4 管理上の課題等

H29建設財源に、子ども・子育て支援整備交付金等が充てられている。

5 管理に関する実施方針

当面は予防保全型管理による長寿命化を図る。

6 管理に関する実施計画

現状で、大きな修繕の予定はない。

修繕等の実績及び今後の計画

11－幼児・児童施設No.103

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	64,051	561	441	
修繕費	61,681		0	H29は工事費＋監理委託料
光熱水費等	2,370	561	441	
事業運営費		13,759	15,878	
合 計	64,051	14,320	16,319	

【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	

【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	0	13,352	14,008	

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



104	施設名	留守家庭児童会あさない
	部局(課)名	市民福祉部（子育て支援課）
	所在地	浅内字上ノ山236
	施設面積	166.00㎡
	建設年度	H18

1 施設の概要

構造・階数	木造 平屋建	台帳価格	35,199,197円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数 到来年度	H18＋耐用年数22年×1.2＝R14

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	－ 2,428千円	
キャッシュフローと老朽化度	高負担築浅	
基本的な方針	縮減対象	機能維持のための修繕を実施しながら縮減を検討
「基本的な方針の考え方」 放課後児童クラブの需要は高く事業は継続すべきであり、機能維持のための修繕を実施し長寿命化を図り、継続使用する。（浅内小学校地域連携施設を改修し、放課後児童クラブに転用）		

※集約・複合化の検討について

利用児童が見込まれるため、浅内小学校地域連携施設を改修し、放課後児童クラブに転用した。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

公設民営方式で、放課後児童クラブ事業を委託している。

※民間等への譲渡の検討について

民間等への譲渡は検討していない。

3 目標使用年数 [11～20年以内]

当面は機能維持のための修繕を実施し、長寿命化を図り継続使用する。

4 管理上の課題等

R1財源に、放課後児童健全育成事業補助金が充てられている。

5 管理に関する実施方針

当面は予防保全型管理による長寿命化を図る。

6 管理に関する実施計画

現状で、大きな修繕の予定はない。

修繕等の実績及び今後の計画

11－幼児・児童施設No.104

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費			2,428	
修繕費			2,428	工事費等
光熱水費等				
事業運営費				
合 計	0	0	2,428	

【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入				
その他				
合 計	0	0	0	

【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等	0	0	0	

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等



105	施設名	二ツ井児童クラブ
	部局(課)名	二ツ井地域局（市民福祉課）
	所在地	二ツ井町字上台25-1
	施設面積	199.15㎡
	建設年度	H29

1 施設の概要

構造・階数	木造平屋建	台帳価格	49,565,520円
行政・普通財産	行政財産	耐用年数 到来年度	H29＋耐用年数22年×1.2＝R25

2 管理に関する基本的な方針

利用者数等とフルコスト	11,792人 12,817千円		
キャッシュフローと老朽化度	高負担築浅		
基本的な方針	縮減対象	機能維持のための修繕を実施しながら縮減を検討	
「基本的な方針の考え方」 留守家庭児童会の需要は高く事業は継続すべきであり、機能維持のための修繕を実施し長寿命化を図り、継続使用する。 老朽化による更新が必要となった場合は、他施設の空スペースの活用について検討する。			

※集約・複合化の検討について

老朽化による更新が必要となった場合は、他施設の空スペースの活用について検討する。

※公民連携の検討について（指定管理者制度、公設民営方式、包括的民間委託など）

公設民営方式での放課後児童クラブ事業の委託先を探しながら、当面は直営を継続する。

※民間等への譲渡の検討について

民間等への譲渡は検討していない。

3 目標使用年数 [21～30年以内]

当面は機能維持のための修繕を実施し、長寿命化を図り継続使用する。

4 管理上の課題等

H29建設財源に、子ども・子育て支援整備交付金等が充てられている。

5 管理に関する実施方針

当面は予防保全型管理による長寿命化を図る。

6 管理に関する実施計画

現状で、大きな修繕の予定はない。

修繕等の実績及び今後の計画

11－幼児・児童施設No.105

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	—	0	
H30	—	0	
R1	—	0	
R2	—	0	
R3	—	0	
R4	—	0	
R5	—	0	
R6	—	0	
R7	—	0	
R8	—	0	
R9	—	0	
R10	—	0	
R11	—	0	
合 計		0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【平成29年度～令和元年度】

【支出】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
維持管理費	45,894	0	334	
修繕費	45,872		0	
光熱水費等	22		334	
事業運営費	3,719	15,174	12,483	
合 計	49,613	15,174	12,817	

【収入】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
使用料収入			1,381	
その他				
合 計	0	0	1,381	

【利用者等】	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数等		9,259	11,792	

※修繕費：改修・修繕にかかる費用

※光熱水費等：ランニングコスト

※事業運営費：人件費、運営業務委託費等